

絆

—きずな—

新たな「まちづくり」を求めて！
社会教育委員からの提言

「家庭教育」を基本とした、新たな「まちづくり」の視点にたった生涯学習の在り方について、3人の社会教育委員さんから提言がなされましたので紹介します。

須恵町立須恵中学校校長

結城慎一郎さん

「絆」

「人の縁」



結城さん

この度、38年間教職員として働き、3月に定年退職を迎える私に、「絆」というテーマでの原稿依頼があった。そこで改めて、「絆」という文字を、校長室の机上にあるメモ用紙に書き、しばらく眺めていた。すると、そのメモ用紙の中に数えきれないほどの、これまでお世話になった方々、また、生徒たちの顔が浮かび上がってきた。「絆」という漢字は、いとへんでできている。よく、人間関係で「赤い糸」という表現があるが、これまでどれほどの方々、生徒たちとの「人の縁」があったのだろうか、振り返る。また、この「絆」という言葉の意味を辞書で調べてみると、「断ち切りがたい

気持ち」という表現を見つけた。まさに、今の私の心情にぴったりだと感じた。教職員として、最後の3年間、籍をおいた須恵中学校に別れを告げなければならぬ、寂しい心境である。ところで、当たり前のことだが、人間社会には無数の人間関係、つまり「絆」という、目には見えない糸が張りめぐらされている。そして、どの学校にも、もちろん須恵中学校にも。生徒を中心として、教職員、保護者、地域の方々の間においてである。しかし、最近私が危惧しているのは、生徒間における、仲間同士の「絆」を築き上げる力の欠如である。

以前、ある教育委員会が、仲間同士の「絆」を築くためには、次の3つのスキルが必要だと提案しているのを見聞きしたことがある。それは、「集団活動スキル」「相談スキル」「コミュニケーションスキル」である。私は、須恵中学校の現状から、まずは集団活動スキルを高める必要があると考える。例えば、間違ったことをしてしまっただけに素直に謝ることとか、相手の立場に立って物事を考えることとか、言動を始める前に一度立ち止まって考えることとかである。個々の生徒たちに、このような力を身につけてほしい。さらに、学校は集団生活の場であるので、環境や雰囲気、また対人関係での対応力の向上も望まれる。それが、前述した自分の思いや考えを他者に伝

社会教育委員：
学校教育および社会教育の関係者ならびに学識経験のある人から選考され、社会教育に関し、教育長を通して教育委員会に助言を行うため、教育委員会から委嘱された人です。



荻さん

「絆」

「思いやりの心で 「まちづくり」、 「人づくり」

有識者

荻晴美さん

1、はじめに
私の子どものころの須恵町は、自然豊かで素朴な田舎町でしたが、都市化とともに随分様変わりしてきました。暮らして豊かになりましたが、隣近所の日常の交流も少なくなり、人と人との繋がりが希薄になってきたように思います。この現象は、須恵町に限らず全国各地に見られることです。

が子を、子が親をという近親者による殺人、さらに理由なき無差別連続殺人など、心を凍らせるような事件が多々起きています。命の尊さを軽んじるこのような社会現象の根源は、何に起因しているのでしょうか。私の須恵町での生活を振り返って、社会教育とは何かについて語ってみたいと思います。

2、須恵町での社会教育活動
私は、昨年社会教育委員に選出され、月例の会議や研修会などに参加し、まちづくりへの社会参画の機会を与えられました。町制施行の年に生まれて以来居住していますが、須恵町のことをよく知っている訳ではありません。8年前に発足した校区コミュニティ活動も、委員になって初めて知りました。この活動は、「すこやかコミュニティ」「いきいきコミュニティ」「ふれあいレインボー」という名称で、須恵町にある3つの小学校に事務局（活動拠点）を置き、校区を取り巻く分館ごとに、学校、家庭、地域が連携・協力し、青少年の健全育成、高齢者支援、地域の安全など、住民が主体となって住みよい「まちづくり」を推進しています。また、須恵町が掲げている生涯学習



みんなが連携・協力して地域のまつりとして定着した校区コミュニティまつり

そのような社会の中、年々絶えることのない犯罪・凶悪事件、とりわけ親が子を、子が親をという近親者による殺人、さらに理由なき無差別連続殺人など、心を凍らせるような事件が多々起きています。命の尊さを軽んじるこのような社会現象の根源は、何に起因しているのでしょうか。私の須恵町での生活を振り返って、社会教育とは何かについて語ってみたいと思います。

3、提言
さて、私の提言ですが、件のコミュニティが発足してからは、町規模での文化祭行事がなくなっていますので、何らかの形で実施していただきたいと思っています。

4、終わりに
社会は人と人の繋がりの集合体です。個人から家族、友人、学校、地域社会、町、ひいては国、国際社会へと広がっていきますが、一人では決して生きていきません。社会の基本単位である、家族、学校、地域社会での人と人との繋がりが、相手を思いやりながら生活することが「絆」だと思います。その「絆」がしっかりしていれば、家族の崩壊、学校での非行も無くなり、地域が犯罪を予防・抑止することにも繋がります。